



あづまだい

登校わくわく 学校いきいき 下校にここに

千葉市立弁天小学校

学校だより

No.5 (9月号)

令和8年8月31日

振り返る力は生きる力



8/13 千葉豪雨の爪痕は学校にも

保護者と地域の皆様には日頃より、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、45日間の長い夏休みを終え、9月1日より前期の授業を再開します。登校してくる子どもたちは、元気に弁天小自慢の挨拶をしてくれることでしょうか。挨拶は心と心をつなぎます。挨拶は交わし合うことに意味があると思います。これから、子どもたちの明るい笑顔と元気な挨拶があふれる弁天小にしていきたいと思っています。

この夏は、熊本での大地震や、身近な地域を襲った千葉の豪雨など、改めて自然災害の脅威と命の重さを実感させられるニュースが多くありました。そうした中、夏休み前の集会で話した「自分の身は自分で守って安全に過ごす」という言葉を一人一人が意識し、大きな事故もなく無事に今日を迎えることができたことを何よりうれしく思います。子どもたちが安全に過ごすことができたのは、ご家庭や地域の皆様が温かく支え、見守り続けてくださったおかげです。心より感謝申し上げます。

依然として厳しい暑さや天候不順も続いております。帽子着用やこまめな水分補給といった熱中症対策はもちろんのこと、日頃からの安全や防災への意識を高く持ち、子どもたちが毎日元気に安心して学校生活を送れるよう努めて参ります。

子どもたちは、夏休みまでを振り返り、気持ちも新たにめあてを立てているかと思います。今年度の弁天小の合言葉「あ・づ・ま・だい」の「づ…続ける努力」で、生活場面でも学習場面でも、自分の目標やめあてを決めて取り組むことを大切にしています。目標やめあてとは、自分ができるようになりたいこと、なりたい自分を想定することです。そんな未来の姿を見据えて、具体的に何をするか、何を頑張るかを設定することが大切です。「忘れ物をなくす」「算数を頑張る」ではなく、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備する」「算数を頑張るために、毎日復習する」というように、具体的な行動にしていきます。取り組むべきことがはっきりとしていれば、振り返りも容易です。「帰ったらすぐに準備すると決めたと、できない日もあった」「毎日復習したから算数が好きになってきた」のように行動を振り返り、新たな気持ちで前を向いて進むことができます。時には、実現のための方法を変更し、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備して、朝もう一度確かめる」と修正することで、なりたい自分に近付いていきます。

学校は授業の中でも「振り返り」を大切にしています。友達の考えを知るなどして、自分を振り返り考えを広げたり深めたりしていきます。これが友達とともに学び合うことの意味であり、一人では達成できないことです。友達との関わりによって自分がどう変わり、どんな気づきがあったかを明らかにして言葉にすることで、考える力は生きる力へと高まっていきます。こうした学校で学ぶことのよさを生かしながら、子どもたちの成長を支援して参ります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

あ

「あかるいあいさつ」

自分から挨拶しましょう。

づ

「つづけるどりょく」

めあてをもって頑張りましょう。

ま

「まごころでやさしく」

自分にも、お友達にも、優しくしましょう。

だい

「だいすきなえがおの学校」

みんなで笑顔いっぱい自慢の学校にしましょう。